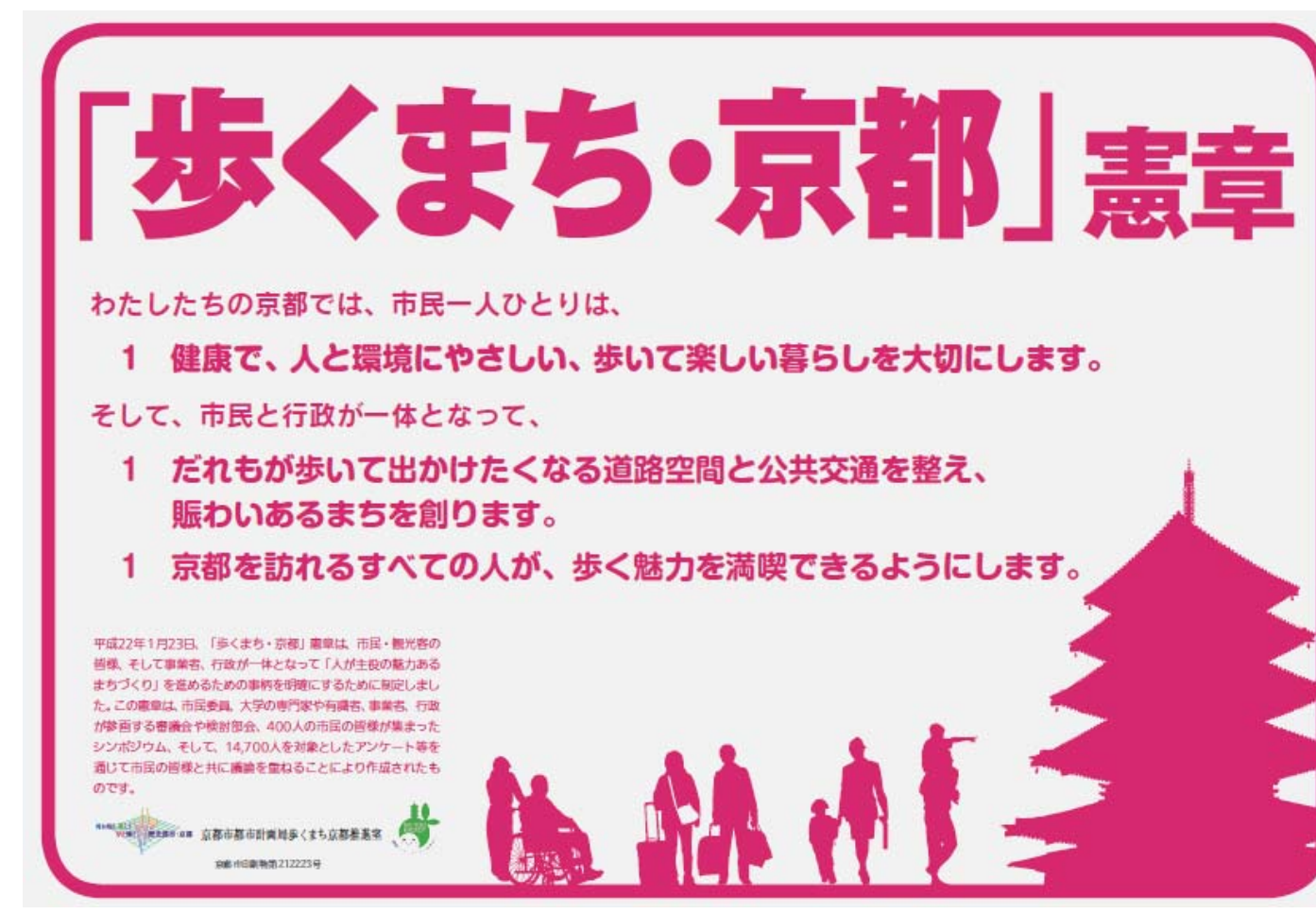


# 「クルマに頼りすぎない暮らし（スローライフ）」の実現を目指す 「スローライフ京都」<sup>プロジェクト</sup> 大作戦の取組

京都市都市計画局歩くまち京都推進室 大野 健志、永田 盛士  
社団法人システム科学研究所 東 徹、宮川 愛由  
京都大学大学院 藤井 聡

## 「歩くまち・京都」憲章の普及・啓発

- ◆ 市政広報板でのポスター掲示や各種印刷物を活用した普及・啓発
- ◆ 平成 22 年 11 月から平成 23 年 3 月までをキャンペーン期間として、商店街、大型商業施設、市関連施設等における憲章のアナウンスや放映による普及・啓発
- ◆ 各局区で実施するイベント等における普及・啓発
- ◆ 小学校での出前授業の実施、クリアファイルの活用、環境副読本の活用など、学校教育における普及・啓発
- ◆ K B S ラジオを活用した普及・啓発



今後、より多くの市民の皆様と憲章を共有し、共に「歩くまち・京都」を実現するため、憲章への賛同者を募集



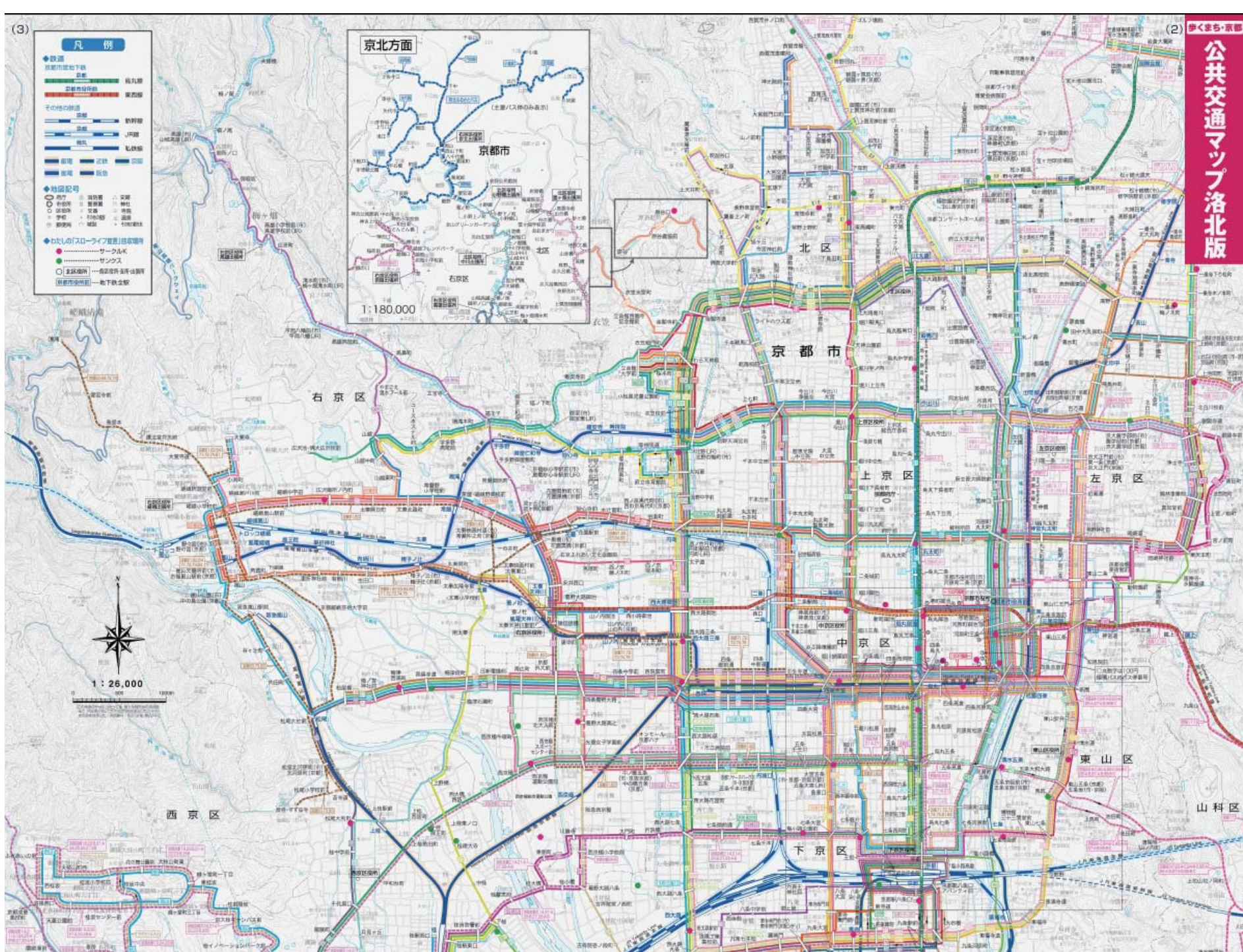
## 市民しんぶんを活用したモビリティ・マネジメント

- ◆ 市内の鉄道・バスの路線を分かりやすく記載した「歩くまち・京都公共交通マップ」を作成し、「市民しんぶん」を活用して 64 万世帯に配布
- ◆ ラジオやポスター等を通じて、一人ひとりが気軽に参加できる「スローライフ宣言」を募集

4,000 人以上から「スローライフ宣言」が寄せられ、一連の取組を通じた市民意識が向上



▲市民しんぶん



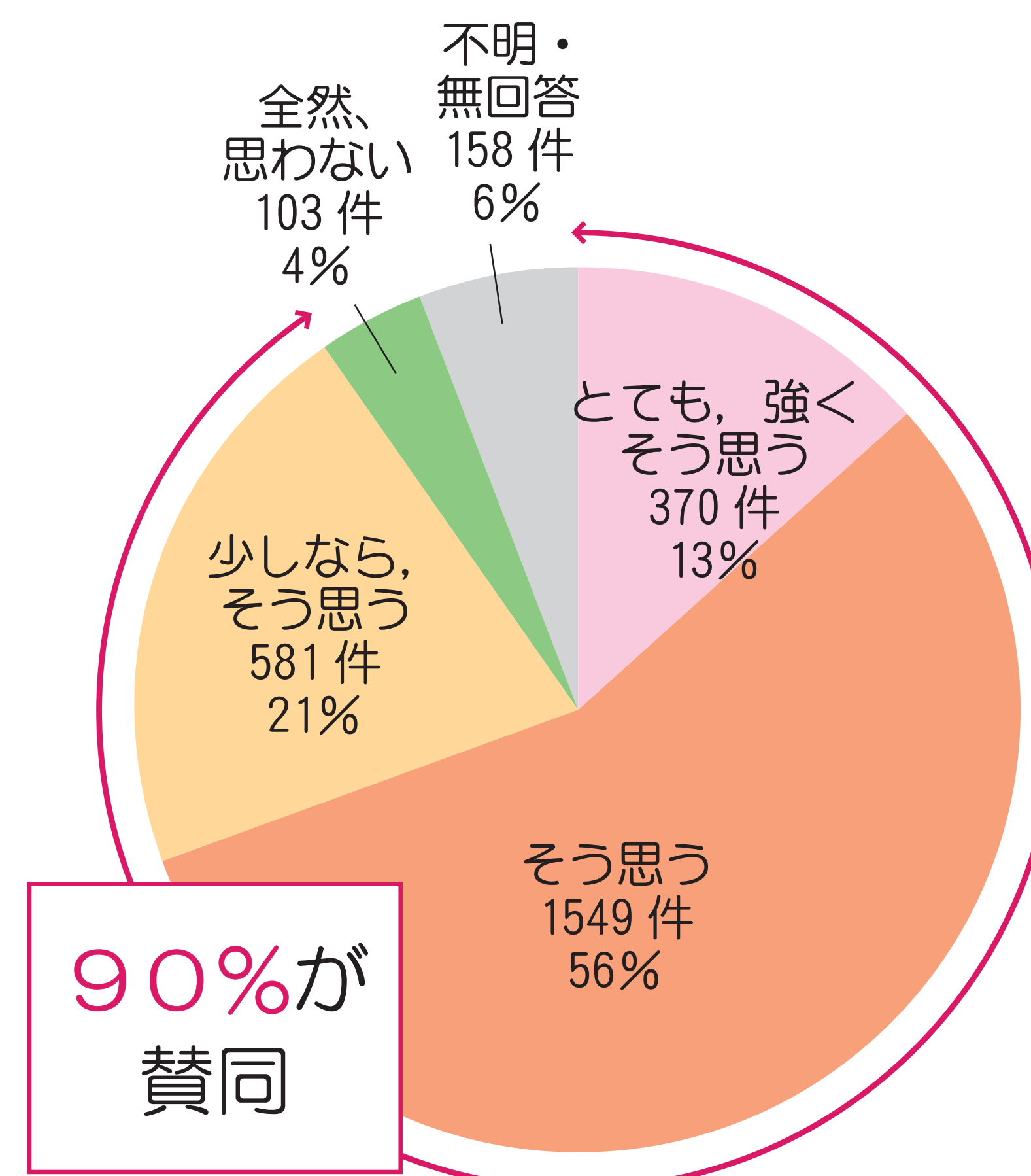
▲歩くまち・京都公共交通マップ



▲「スローライフ宣言」を募集ポスター

### ＜「歩くまち・京都」への賛同意識＞

Q 健康や環境やまちの活力のために、できるだけ「クルマに頼りすぎない暮らし」を試みようと思いますか？



ポスターや市民しんぶんを活用した意識啓発によって「歩くまち・京都」への賛同意識が向上

1人あたり年間約 12 トリップの自動車利用の削減効果

CO2 排出削減量は、年間約 1,400 トン

## 観光客を対象としたモビリティ・マネジメント

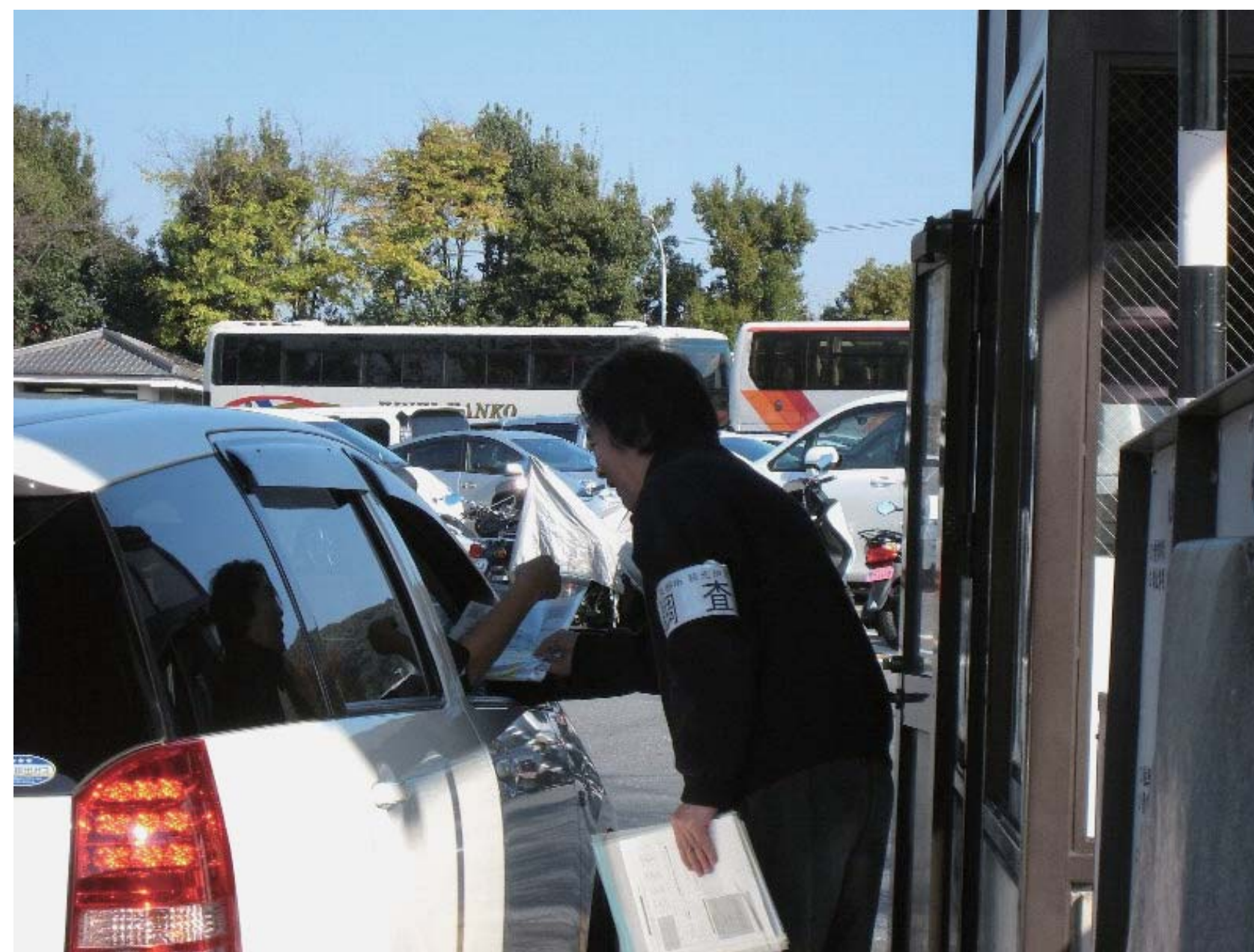
- ◆ 市内の鉄道・バスの主な観光路線を記載した「公共交通でまわる京都観光マップ」を作成
- ◆ 宿泊客や観光地周辺の駐車場利用者に、マイカー以外での次回の来訪や市内移動を呼びかけ



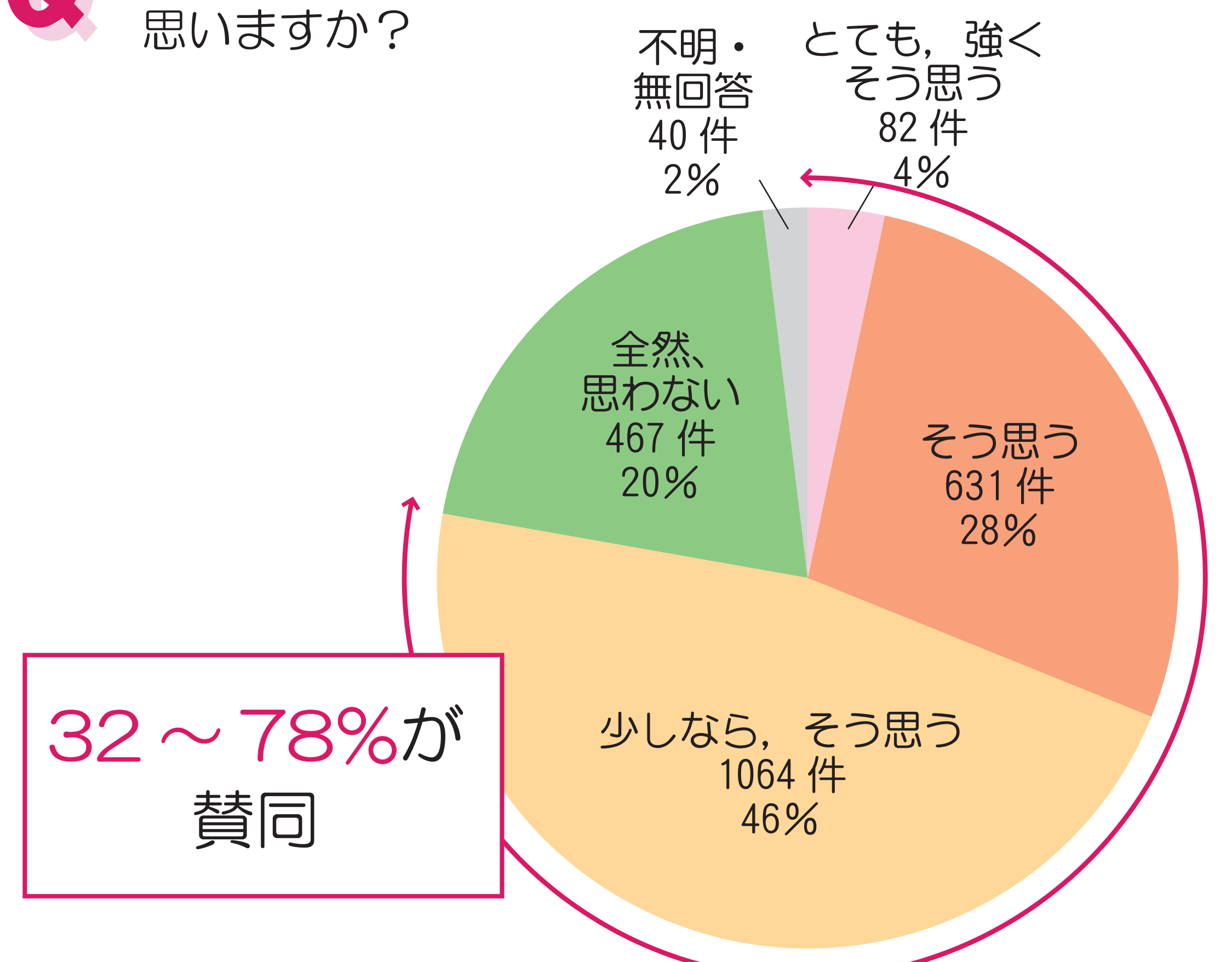
▲公共交通でまわる京都観光マップ



▲駐車場利用者への呼びかけ



Q 次回は、「クルマ以外」で京都に来てみよう…と、思いますか？



## 結論

- ◆ 「スローライフ京都」実現に向けて、市民、観光客向けの公共交通マップを作成するとともに、ラジオ、ポスター等を活用して、重層的・複合的に働きかけを行った。
- ◆ 「スローライフ京都」実現に向けた賛同意識が醸成され、クルマからの転換意向が確認された。

意識を行動に結びつけるためのより効果的・効率的なコミュニケーション手法の検討や、作成したツールの継続活用に向けた事業者との連携策の検討が必要